熊　本　県　教　育　広　報　誌　vol.58

ばとん・ぱす

教職員等記章
（平成15年4月導入）

編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609　熊本市中央区水前寺6丁目18番１号
Tel：096(333)2699
Mail：kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

第3期くまもと「夢への架け橋」教育プランを策定しました

令和３年３月、熊本県では、本県教育の振興のための基本計画である「第３期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」を策定しました。

令和２年度から令和５年度までの４年間を計画期間としています。

子供たちが「熊本の心」「生きる力」「考える力」を兼ね備えることで、これからの変化の激しい社会の中で生き抜く精神や知識を身に付け、自らの夢の実現に向かって何度もチャレンジし、さらには子供たち一人一人の夢の実現が熊本の未来を創造する原動力となることを目指して、「夢を実現し、未来を創る熊本の人づくり」を基本理念として本県教育を推進します。

教育プラン全文
（QRコード又はコチラから）

基本理念

夢を実現し、未来を創る　熊本の人づくり

夢を実現する重点取組～4年間で重点的に取り組む事項～

「夢」を育む

- 家庭教育支援にしっかり取り組みます
- 子供たちが安全・安心に学ぶ学校をつくります
- 貧困の連鎖を教育で断ち切ります
- “生きる力”の基礎となる学力向上を図ります
- 障がいのある子供の学びを支えます

「夢」を拡げる

- 英語教育日本一を目指します
- 進学や就職の夢を叶えます

「夢」を支える

- 魅力ある学校づくりを進めます
- 教員の指導力向上を図ります
- ＩＣＴ教育日本一を目指します

指標一覧

指標名	策定時（R元）	目標値（R５）
保護者が家庭教育について学んだ園・学校の割合 （「親の学び」講座等を実施した園・学校の割合）	就学前34.4% 小学校99.6% 中学校97.4%	就学前　50% 小学校100% 中学校100%
いじめを受けた児童生徒で、誰かに話をした、又は自分で解決できると答えた割合	80.4%	100%
不登校の児童生徒が、教職員だけではなく専門家からの支援を受けている割合（公立小中学校）	89.7%	100%
児童生徒の学力が向上した割合（小中学校） （全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った項目数）	１/５項目で全国平均を上回る（H30）	すべて全国平均を上回る
生徒の学力が向上した割合（高等学校） （「高校生のための学びの基礎診断」で学力が向上した生徒の割合）	52.9%	65%
児童生徒の体力が向上した割合 （全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回った種目数の割合）	70.6% （24/34種目）	100% （34/34種目）
児童生徒が切れ目なく支援を受けられる割合 （個別の教育支援計画の小学校から高等学校までの引継ぎの割合）	64.7%	100%
特別支援学校において生徒が就職できた割合 （就職希望者数に占める就労継続支援A型を含む就職者数の割合）	88.7%	100%
高校生（全日制）がインターンシップを体験した割合	70.2%	80%
生徒が英語力を身に付けた割合 （中３：英検３級相当取得率、高３：英検準２級相当取得率）	中３　27.1% 高３　32.9%	中３　40.0% 高３　45.0%
入学を希望する生徒が増加した県立高等学校の学科・コースの割合	50.3%（R2.9）	80%（R6.9）
教職員の時間外在校等時間が年360時間以内となっている割合	45.6%	100%に向け前年度より増加
学校における情報化が先進的である地域※の数	〔市町村立学校〕 ３地域 〔県立学校〕 ０地域	〔市町村立学校〕 44地域 〔県立学校〕 １地域
地域に総合型地域スポーツクラブが設置されている割合	91.1% （総合型地域ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ設置市町村 41/45市町村）	100%
文化財（国・県指定、国登録）の災害復旧が進んでいる割合 （令和２年７月豪雨）	0%	85%

この記事に関する問い合わせ先：教育政策課　096-333-2699

「令和の時代」を生きる熊本の子供たちのための

GIGAスクール構想の実現

～ＩＣＴ教育日本一を目指して～

将来の変化を予測することが困難な時代を迎え、日本の教育が大きく変わろうとしています。
新しい時代を生きる子供たちのために、どのような授業が行われるのか分かりやすく解説します。

GIGAスクール構想とは

文部科学省は、令和元年１２月にGIGAスクール構想を発表しました。

これは、児童生徒に１人１台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人残すことなく、個別最適化し、資質能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するものです。

※　GIGA=Global and Innovation Gateway for Allの略



「文房具」の一つとしてICT機器を使います

チョークと黒板だけで教師が一方的に教える授業だけではなく、子供たちが、あらゆる教科でICT機器をフル活用しながら学びを深めます。

様々な情報を集めて読み取ったり、分かったことや考えたことをもとに話し合ったりすることで、自ら問題を解決する力を身につけます。

多様な子供たちを誰一人取り残すことのない学びを実現させるための取組を進めています。



出典：文部科学省ホームページ（学校におけるICTを活用した学習場面より抜粋）

ICT機器整備と教員の研修を進めています

GIGAスクール構想の実現によって、教員が日々の授業でICTを活用し、１人１台端末の環境を十分に生かした授業ができるよう次の取組を進めています。

・学校現場でのICT機器環境整備の充実
・教員の指導力を高める研修

ICT教育日本一を目指します

熊本県では、日本教育工学協会の認定制度において、令和５年度末までに都道府県単位では初となる学校情報化「先進地域」の認定を目指しています。

「ICT教育日本一」の達成に向けて、様々なサポート体制を整え、学校と地域をバックアップしていきます。

※現在、熊本県内では、高森町、産山村、山江村の３町村が先進地域として認定を受けています。

GIGAスクール構想の詳細
（QRコード又はコチラから）

この記事に関する問い合わせ先：教育政策課　096-333-2673

県立高校のさらなる魅力づくりに取り組みます。

令和２年度、外部有識者からなる「県立高等学校あり方検討会」を設置し、県立高校の再編整備後の現状と課題を踏まえた県立高校のあり方と今後の取組の方向性について、会長である半藤英明熊本県立大学学長から提言をいただきました。

提言を受け、令和３年度から令和６年度までの４年間は、新たな再編統合は行わず、高校の魅力化に注力していきます。

すべての高校生が夢に挑戦できる魅力ある県立高校像

1 「夢を実現する力」を育む学校

2 地域で夢を拡げ、地域の未来を支える人材を育てる学校

3 夢への挑戦を支える学校

新しい時代に対応した対応した魅力ある学校づくりへ
～学んでひらく夢へのとびら～

魅力ある学校づくりに向けた取組の方向性

Ⅰ　各学校の特色や強みを生かした取組を重点的に推進
Ⅱ　高校間連携や多様なパートナーとの連携による取組を推進
Ⅲ　地域の期待に応える魅力ある学校づくりの推進
Ⅳ　ICTの活用による学びの保障、教育の充実（ICT教育日本一）
Ⅴ　小規模な学校の活性化
Ⅵ　グローバルに活躍する人材の育成（英語教育日本一）
Ⅶ　取組を推進するための環境整備

令和３年度の主な取組

【熊本スーパーハイスクール構想】

○各高校の魅力を全力で発信します！
・全県立高校の特色等の情報をまとめ、中学生が知りたい学びの情報を簡単に検索できる機能を備えた新HPを制作します。
・各県立高校が自校の魅力の磨き上げや情報発信に取り組み、高校の特色を明確化します。

【県立高校One Teamプロジェクト】

○全校「ワンチーム」でつながります！
・様々な学科・コースを持つ県立高校の強みを生かし、学校や学科の枠を越えて、様々な教育活動を行います。
・例えば、普通科の生徒が専門学科で学ぶ授業や別々の学科・学校が連携した研究活動の実施など、県立高校だからこそできる学びの機会を提供します。

【ICT教育の推進】

○ICT教育日本一を目指します！
・選択できる教科・科目の拡大等に取り組み、遠隔授業による小規模校の学びの充実等を図ります。
・全県立高校で生徒1人1台の学習用端末を配備し、ICTを授業だけでなく、家庭学習の充実等にも活用していきます。

【入試制度のあり方検討】

○入試のあり方を見直します！

入試の時期や選抜の方法など、現行の入試制度の課題や、中学生のニーズを踏まえた入試制度のあり方等について、検討を開始します。

～　紹介しきれない情報がまだまだあります。提言の全文やあり方検討会の議事録はこちら　～

熊本県立高校　あり方検討

【ＱＲコード】



この記事に関する問い合わせ先：高校教育課高校魅力化推進室　096-333-2684